

平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立美鈴が丘中学校

1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成 21 年 4 月 21 日 (火)

3 調査実施学校数 (公立学校) 等

区 分	調査実施校数 (校)			調査実施者数 (人)			
	国	県	市	国	県	市	学校
小学校第 6 学年	21,482	545	140	1,137,844	26,002	10,870	-
中学校第 3 学年	9,851	247	64	1,033,909	23,033	9,025	81

4 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語, 算数・数学)

主として知識に関する問題 [A問題]

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題 [B問題]

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 各教科の平均正答率

【小学校】

国語								算数							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
69.9	72.9	71.9	-	50.5	53.8	53.2	-	78.7	81.3	80.7	-	54.8	56.6	57.1	-

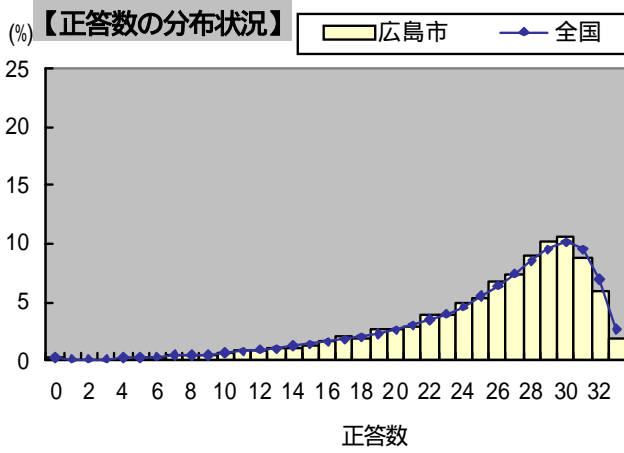
【中学校】

国語								数学							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
77.0	77.6	76.6	80.9	74.5	74.8	73.7	79.6	62.7	62.9	62.3	61.7	56.9	56.2	55.1	56.4

6 各教科の調査結果の概要

【中学校国語】

国語 A



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	86.8	86.5	84.6
書くこと	64.6	64.8	78.2
読むこと	75.7	75.2	78.6
言語事項	76.0	75.6	81.0

【問題形式による定着状況】

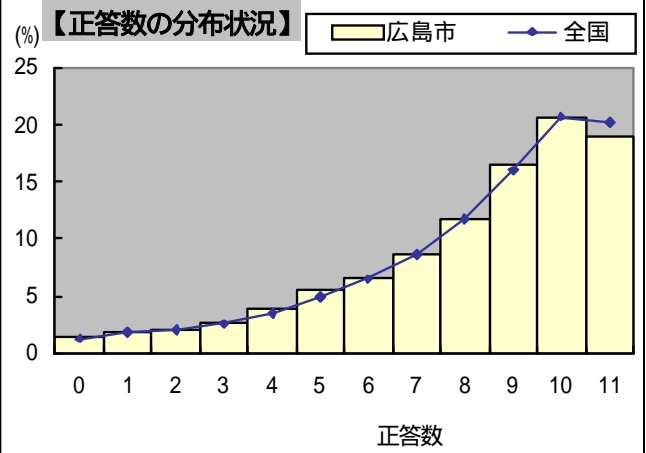
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	76.0	75.8	78.9
短答式	78.4	77.7	83.7
記述式	-	-	-

定着状況

基礎的な国語力はおおむね定着しており、国・県・市平均を上回っており、活用力もついてきているようである。

記述式の問題も、短い文章を書く問題だったので、日頃の授業の延長のように感じて、あまり抵抗感なく取り組めたようである。

国語 B



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	-	-	-
書くこと	72.5	71.5	77.5
読むこと	74.5	73.7	79.6
言語事項	-	-	-

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	70.2	69.9	74.5
短答式	82.0	81.0	88.1
記述式	72.5	71.5	77.5

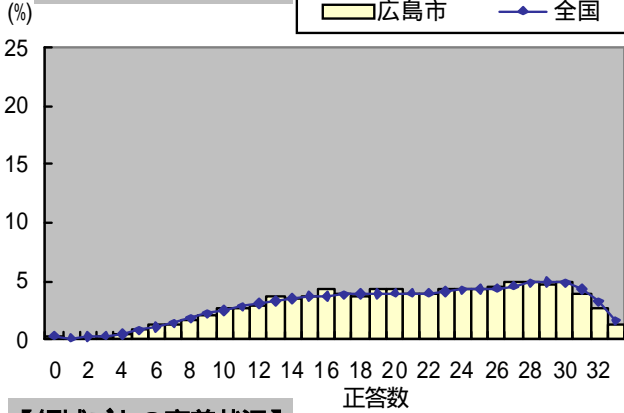
課題

生活とはかけ離れた内容の理解や、語句の問題が苦手なようである。国語科だけでなく全ての学校生活や家庭生活において、多様な知識の習得を図るような学習を実践していくことが課題である。

【中学校数学】

数学A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	67.3	66.7	70.0
図形	64.6	64.4	62.5
数量関係	56.2	55.8	52.4

【問題形式による定着状況】

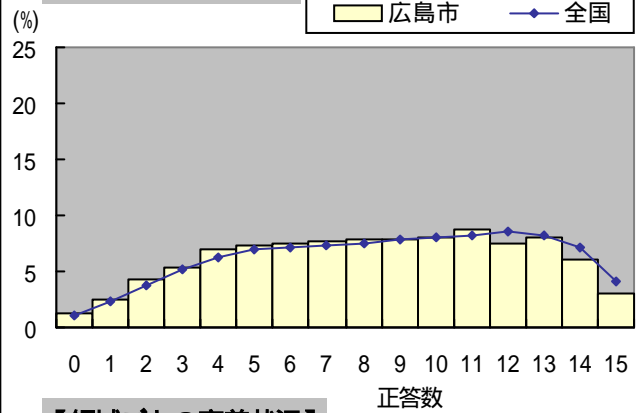
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	60.5	60.2	59.3
短答式	66.1	65.5	65.2
記述式	-	-	-

定着状況

基本的な数式の計算についてはおおむね理解はできているが、数量の関係を文字式で表したり、文字式を読んだりすることができていない。表やグラフから必要な情報を適切に選択し、それを数学的に解決したり、説明したりする活用力が育っていない。

数学B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	61.4	58.5	58.4
図形	57.5	56.1	55.3
数量関係	54.1	52.4	56.4

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	61.6	59.8	61.7
短答式	70.3	69.8	74.7
記述式	40.6	37.7	35.3

課題

数量や図形についての知識理解が不足しており、単元の導入時に復習を行うなど系統的な指導が必要である。数学的に説明する表現力を高める必要がある。日々の授業で解答のみを答えさせるのではなく途中の考えや理由を説明させる場を積極的に設けていく必要がある。